

科目名 Course Name	ファッションデザイン演習Ⅱ Fashion Design Seminar			ナンバリング No.	C2-010		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または栄養福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>[概要]衣服や服飾小物をデザインから計画し、各自の作品としてパターン製作(立体的裁断・平面作図・他)後、実物素材にて完成物にする。デザイン設計から作図の応用と展開方法について実践を通して学び、応用作品につなげる。デザインや製作技術を習得することで、商品企画・販売などにおいて、被服材料やその扱い方、縫製技術等を見極める力を身につける。</p> <p>[到達目標]①作品別にデザインから製作までの実践力を習得する。②一連の流れを習得することでデザインにあった設計法を選択し、応用することができる。③製作経験から、既製の質等を見極めることができる。④作品のプレゼンテーション(発表)では、アピールポイントや工夫点を、言葉で説明できるようにする。</p>						
授業の方法	適宜サンプル物を提示し、個に対応した実技指導をしながら進める。一連の知識・技術を習得することで製作について自信をつけ、挑戦する意欲につなげる。製作作品のプレゼンテーション(発表)を行い、他者評価もする。1回の演習は2コマ連続で行う。(合計30コマ)						
学習成果	L01						
	L02	人体と衣服との関係を理解し、ファッションデザイン画を描くことができる。					
	L03	デザインにあった設計法を選択し、展開方法を考え、作品を完成させることができる。また、知識・技術の習得により、被服材料やその扱い方、縫製技術等を見極めることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	① テーマに沿った「デザイン・パターンの作製、試作、補正、完成」までを、個人作品として行う。 ② 完成品は発表し、講評する。その際、デザインに沿った表現法などを共有する。						
教科書/参考図書	授業内プリント配布 参考図書:服飾造型講座 改訂版③ 文化出版局 実物と資料の提示						
履修上の留意点やルール等	●提出物の期限厳守 ●プリントを綴るファイルを用意すること。 ●材料費は自己負担 ●作品完成後の展示に向けては履修者と相談する。 ●ファッションデザイン演習Ⅰを履修していることが望ましい。 ●事前事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回45分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	製作計画に従い課題意識をもって授業に取組み、意欲的に質問し意見を述べるなど、授業への主体的な態度を評価する。		10		
レポート/作品	テーマに対し適切な内容で、成果物(作品、デザイン画等)は完成度の高いものとなっていたか評価する。評価規準Sは事前に示した各観点が十分に達成できている状態である。期限を過ぎた場合は減点する。		10	70	
発表	作品はクオリティの高いものとなり、内容の濃い発表が評価する。			10	
小テスト					
試験					
その他					
合計			20	80	

回数		授業計画
1-2	授業内容	ガイダンス、ファッションデザイン画の描き方 デザインとパターン、素材、縫製技法が、完成品に影響することを学ぶ。
	事前・事後学習	デザインを決定するためスタイルブック等で情報収集し、作品の構想を練る。
3-4	授業内容	作品製作① テーマ設定・デザイン計画。計画に基づき、デザイン画の作成、材料計画、製作計画の立案をする。
	事前・事後学習	デザインを決定するためスタイルブック等で情報収集し、作品の構想を練る。
5-6	授業内容	作品製作② 衣服製作の基本となる人体計測、パターン製作
	事前・事後学習	体型の特徴を知り、デザインの工夫を検討する。
7-8	授業内容	作品製作③ シーチングによるサンプル製作。立体裁断の技法の習得
	事前・事後学習	イメージと創造を連動させ、布地等材料について検討する。
9-10	授業内容	作品製作④ パターンの修正後再度試着し、パターンを完成させる。布地等材料の選定。確実なパターンに仕上げる心掛けが良い作品になることにつながることを知る。
	事前・事後学習	デザイン画・材料購入計画をもとに布地等材料を購入する。製作工程を計画する。
11-12	授業内容	作品製作⑤ 布地の裁断・しるしつけ 誤りがないか確認しながら進める。
	事前・事後学習	製作計画を確認し、次時の予定に合わせて製作を進める。製作工程を再確認する。
13-14	授業内容	作品製作⑥ しるしつけ・縫製 丁寧な作業を心掛け、イメージに合った製作が進められているか確認する。
	事前・事後学習	製作計画を確認し、次時の予定に合わせて製作を進める。
15-16	授業内容	作品製作⑦ 縫製 丁寧な作業を心掛け、イメージに合った製作が進められているか確認する。
	事前・事後学習	製作計画を確認し、次時の予定に合わせて製作を進める。
17-18	授業内容	作品製作⑧ 縫製 丁寧な作業を心掛け、イメージに合った製作が進められているか確認する。
	事前・事後学習	製作計画を確認し、次時の予定に合わせて製作を進める。
19-20	授業内容	作品製作⑨ 縫製 丁寧な作業を心掛け、イメージに合った製作が進められているか確認する。
	事前・事後学習	製作計画を確認し、次時の予定に合わせて製作を進める。
21-22	授業内容	作品製作⑩ 縫製 丁寧な作業を心掛け、イメージに合った製作が進められているか確認する。
	事前・事後学習	製作計画を確認し、次時の予定に合わせて製作を進める。
23-24	授業内容	作品製作⑪ 縫製 丁寧な作業を心掛け、イメージに合った製作が進められているか確認する。
	事前・事後学習	製作計画を確認し、次時の予定に合わせて製作を進める。服飾小物製作の計画を立て、材料を準備する。
25-26	授業内容	作品製作⑫ 縫製・アイロン仕上げ等 丁寧な作業を心掛け、イメージに合った製作が進められているか確認する。人台にフィッティングし、仕上りを確認・修正する。
	事前・事後学習	製作品の試着確認、仕上げアイロン、発表準備、服飾小物製作の材料を準備する。
27-28	授業内容	作品製作⑬ 作品に合わせた服飾小物を製作する。仕上げ・まとめ・自己評価表を作成する。
	事前・事後学習	自己評価表を提出する。発表時のコーディネートを考え、発表原稿を作成する。
29-30	授業内容	着発表、【成果物・自己評価表】の提出。講評、振り返り。
	事前・事後学習	衣裳に合わせたコーディネートで着発表。他者評価を提出する。